

第37回（仮称）まちづくり条例検討市民会議

会議録概要（委員発言要旨）

平成21年6月5日（金）

会議の成立

委員総数14名 出席委員数10名 半数以上の出席により会議は成立する。

- ・出席委員 ～ 荒井、逢坂、笠原、合田、杉本、高橋、田巻、中山、水口、三原
- ・欠席委員 ～ 井上、浦西、小野寺、橋本

配布資料について

〔中山座長〕

- ・笠原委員から資料提出があるので、簡単に説明願う。

〔笠原委員〕

- ・1点目は、市民憲章や最近北見市で制定された条例の前文を抽出したものの。前文を検討する際の参考資料として提出。
- ・2点目の「町内会の草の根意見」の雑誌記事は、以前の会議で話題になった市民活動等のあり方について大阪市の例が載せられていたので、参考資料として提出。
- ・3点目は、前文の検討から条例名を決める際の資料として、既に制定されている他自治体の条例のタイプとその名称の一覧である。

前回（第36回）会議内容の確認

〔中山座長〕

- ・まず、前回から持越していた地域振興に関する条文の検討を行った。
- ・均衡ある発展を目指すため自治区間の連携が必要であるということで、それらを残すこととした。
- ・次に、国や道及び他自治体との関係について協議し、市から国等へ提案することも盛り込むべきとの意見が出た。国際交流に関することを含め、札幌市の条例を手本にして内容を修正した。
- ・条例改正等については、たたき台の内容を基本とするが、これも札幌市条例の規定を参考にすることとした。

- ・これで一通り検討を終えることができたが、まだ一部検討が必要な条文もあるので、それらは全体を見ながら考えていくこととして、次回前文の作成に入ることを確認し、会議の終わりに各委員から出された文案等を配布した。

前文の検討

〔中山座長〕

- ・今回は前文の内容を検討したい。
- ・(仮称)北見市まちづくり条例の名前も話し合いたいのので、皆さんの意見を聞きたい。
- ・まず条例の名前を決めるのか、前文の構成が決まってから名前を決めるのか。
- ・私はとりあえず仮称のまま、「北見市まちづくり条例」という名前で、前文の検討に入っていくのが良いと思うが、本日資料提出もあった笠原委員如何か。

〔笠原委員〕

- ・基本的には、まちづくり条例ということで、ここに「市民」を入れるのか、あるいは「基本条例」という「基本」を入れるのか。
- ・提出資料の自治基本条例の類型によると、北見の場合は、1の自治基本条例タイプになると思う。本当は2の住民参加条例タイプを目指してこれまで話をしてきたと考える。
- ・これまでの北見の場合は、(仮称)北見まちづくり条例となっているが、個人的にはそれに「市民」か「基本」を入れたく、優先順位からいくと「市民」を入れた方が良いと思う。
- ・資料の1番(自治基本条例タイプ)と2番(住民参加条例タイプ)はこういう類型にしているが、北見市の場合は最高規範性を持ち、なおかつ市民参加ということであるが、ここで言っている2番の住民参加というのは、どちらかということと地域活動をメインとした中身なので、北見市は1番の変形型で本当の意味での1番になると思う。
- ・自分の認識と今までの議論経過から言っても、間違いなく1番だと位置づけられると思う。

〔中山座長〕

- ・事務局に聞きくが、「基本」が付く、付かないに違いはあるのか。

〔事務局～企画課長〕

- ・基になるということ。個人的には、まちづくり条例より、基本条例の方が良いと思う。
- ・今言われた「市民」の部分だが、「北見市市民まちづくり条例」となると、まちづくりを行う担い手というのは、市民・議会・市長等ということで、これまで議論してきたが、「市民」を付けると、この「市民」だけのまちづくりに関わる規定に採られかねない。
- ・多分北見市は1番の自治基本条例タイプになる。ということは、「市民」「行政」「議会」も入るといふ流れになっていると感じる。
- ・今まで住民参加という事を大事にしてきたが、1番の自治基本条例タイプの中に出てきているのは、豊田市、三鷹市、大東市、平塚市などがある。
- ・逆に言うと多治見市は、3番の行政運営条例タイプに入ると意識している。
- ・14の先進事例を出したところは、殆ど1番の形になっていると思う。今まで議論してきた事は、これらを参考にしながら議論をしており、内容的にも文言の構成は違うが、

大きな枠組みとしては似たようなものになっていると感じている。

〔中山座長〕

- ・私は「市民」という言葉を入れると、偏りが出そうなので入れない方が良いのではないかと思う。
- ・「基本条例」と付く事で、これを基にして考えるということが強調ができ、付けた方が良いと思う。
- ・そうすると「北見市まちづくり基本条例」という名前がぴったりだと思うが、皆さんからの意見を聞きたい。

〔杉本委員〕

- ・良いと思う。

〔中山座長〕

- ・これで決定というわけではないが、「北見市まちづくり基本条例」という名前で今後は呼びたいと思う。

〔笠原委員〕

- ・異論をもっているのは私だけなので、この際ここで決めた方が良いのではないか。あとで決めるとなるとまた時間がかかる。

〔中山座長〕

- ・それでは、皆さんの意見を伺いたい。

〔合田委員〕

- ・今の「北見市まちづくり基本条例」という言葉が、一番しっくりする。

〔三原委員〕

- ・私も良いと思う。

(水口委員、田巻委員、高橋委員、杉本委員、荒井委員、同意見)

〔中山座長〕

- ・それでは、「北見市まちづくり基本条例」という名前で今後進めたい。
- ・次に前文の内容の検討に入るが、色々皆さんからの意見を頂いており、まずはどの様にして検討を進めていけば良いかを決めて行きたい。

〔笠原委員〕

- ・先ほど配った資料だが、色々北見市の条例関係を調べてみた。「市民憲章」は参考にしなくてはならないと思う。
- ・あとは「環境基本条例」と「男女共同参画を推進するための条例」の前文は参考になるが、これよりも上の前文にしていかないと体裁的に格好が悪いと思う。
- ・この環境基本条例の前文を見たときに、すっきりとして良い感じを受けた。男女共働参画にしても、明解な前文になっているという印象を受けた。
- ・環境基本条例は地理的・自然の部分が多く、男女共同参画は人間の基本的な部分が明記されている。それに文化などを加え、どうつくっていくか。
- ・この2つの条例自体は、市民会議で作ったものか。

〔事務局～企画課長〕

- ・市民憲章については、市民憲章のための市民会議をつくり、その委員の方々に作り上げ

てきた。実はこの前文にかかる解説も確か作られ、細かい詳細まで作り上げたと思う。

〔笠原委員〕

- ・環境基本条例や男女共働参画なども、市民会議で作られたのか。

〔事務局～企画課長〕

- ・環境基本条例については、審議会で条例の素案を策定した。男女共働参画も審議会を持っていると思う。

〔笠原委員〕

- ・市民として、条例の検討というのは、まちづくり条例が初めてだと思う。

〔事務局～企画課長〕

- ・ある程度事務局がたたき台を作って、中身を検討してもらうことが多いと思う。

〔笠原委員〕

- ・司法、立法、行政の3つの関係から言った場合、条例そのものを作るということは、明らかに立法の分野に入る。これまで審議会という事で、事務局側がたたき台を作り、それに対して市民が参加して了承する形だったと思うが、今回のまちづくり基本条例については、明らかに条例そのものを作るということで立法であり、行政とはまた別な分野の性格を持っているものと思う。
- ・だから三権分立で言うと、これは立法の分野になる。本来で言うと議会などでやと思うが、市民からの発議で条例を検討しているという位置付けの性格が、この前文に活かされる。
- ・おそらく北見市ではじめての市民検討による条例になると認識をしているが、間違いはないか。

〔事務局～企画課長〕

- ・過去の条例すべてが、どういう形で作られたのかはわからない。これまで何も無い所から1条ずつ作るということは、今までなかったと思う。
- ・一番新しいのは環境基本条例で、一定程度行政側がたたき台を作って、それを基に検討し進んでいた。
- ・市民憲章については、ある意味ゼロからスタートし、作り上げてきたと思う。
- ・14種の先進事例の前文を眺めていくと、まちの成り立ちや特性、そして何故こうした条例を制定しなければならないのかという背景や、どういうまちにしていくのかという思い、そしてそのことへの決意という流れで前文ができていると思う。他にもこのような共通の流れだと思う。

〔中山座長〕

- ・順番として、成り立ち、特性、背景、決意という順番で書いているものが多いだろうということ。今頂いた情報や提案を基に、この順番で皆さんの意見を集約していくことで如何か。
- ・今まではキーワードだけをあげてもらった形だったが、今回は完全に文言にしてしまう作業にするか、それとも成り立ちとして、このキーワードだけは最低盛り込んでほしいという事をいただき、後は正副座長が持ち帰って作成し、毎回の会議で少しずつ修正をしていくという形もあり得る。

- ・効率が良いのは、ある程度構成を決め、成り立ち、特性等にキーワードを盛り込んで文章を考え、皆さんに検討してもらう方が、効率が良いと思うが、皆さん如何か。

〔田巻委員〕

- ・前文キーワードというと、第6回目の会議で作ったキーワードがあるのではないか。

〔中山座長〕

- ・その通りであり、既に出来ているといえれば出来ていることになる。
- ・キーワードについては、前回の第36回会議資料5の最初のページに井上委員から提案されたものが、シンプルにまとまっているので、これを見ながら皆さんから出していただいた文章を踏まえ、前文の検討に入っていきたい。
- ・成り立ち、特性、背景、決意という順番で検討していきたいが、如何か。この順番で良ければ具体的な検討に入る前に、前回、杉本委員から、条例の考え方の住民自治と団体自治の絡みの資料をいただいていたので、前文の検討と合わせて説明していただきたい。
- ・資料は前回配布した「条例政策としての方針のみ」という始まりで、2枚目に「住民自治」と「団体自治」の図があるもの。

〔杉本委員〕

- ・総合計画もそうであるが、「住民自治」という言葉が良く出てくるが、この言葉が出てきては消えてという傾向が12年ぐらい前からあった。同じくして「協働」という言葉も出ては消えたりしていた。
- ・ある会で日本国憲法の「住民自治」という言葉は、団体自治と住民自治でできているとの説明であった。10年程前に法学者の集まりに偶々参加する機会があり、住民自治を、素人にも分かるように説明して欲しいと質問したとき、そこに北海道で有名な法学者3人いたが、3人とも言葉に詰まった。
- ・住民自治という言葉は良く使うが、絵に描いて見せて欲しいというと、答えに詰まり、要は住民のレベルの問題で、理解が左右するので、一言で説明ができないということだった。
- ・その後、その法学者に会った時にも、住民自治をどう解釈したら良いかと尋ねても、きちんとした絵が出てこない。最近になって「住民自治」という言葉に関しては、誰も答えられなく、言葉の解釈だけで行くしかないと思った。
- ・「共働」という言葉を使うからには、「住民自治」という言葉を一緒に並行して使わなくてはいけない。総合計画でも「住民自治」という言葉が良く出てくる。
- ・ではこの「住民自治」とは、どういう形なのか、何らかの形を出さなくてはいけない。最近インターネットで調べても、こういう関係の事は一切出てこない。
- ・住民自治と団体自治はどういう関係にあるのか。関係が無い中の条例というのは、その関係をどうやってうまくやるのかという約束事であるから、関係がイメージできないままいくと、危険性が出ると感じる。
- ・そこで、これが良いかどうかは分からないが、とりあえず資料のとおりまとめてみた。
- ・まず行政やそれぞれのまちづくりに関する組織がどう関係しているのか図を描いてみた。
- ・一番上に書いてあるA~Fの部分は、今まで我々が決めてたことだが、フロー表示で、関係性を単純に表したもの。これが自治の中でどういう関係性にあるのかというところで、

住民自治・団体自治を下の方にマック表示で表している。

- ・ ページュ色のものが住民自治、青色が行政関係で団体自治である。民主的な自治を考えていくと、どうやら団体自治と住民自治は相反するもので二分化している関係に思えるかもしれないが、実際には二分化しているわけではなく、団体自治というのは、条例や決められた約束事の自治であり、住民自治というのは意思、それぞれ自治する意欲、モチベーションが住民の中にあるのではないかと考える。
- ・ 行政の人は、自治する職業、専門家である。市長も議員も、自治の専門家と考えないとこれから共働など色々なことが出てくると公務に携わる人たちが多様な状況になってくるので、説明がつかない。
- ・ 団体自治と住民自治が対立する関係ではないと言う事が分かってきた。この意見が正しいかどうかを、知り合いの法学者にこの絵を送って尋ねてみると、一定の評価を得た。
- ・ そこで資料の上の A~F の表示は、マック表示の A~F に入ってくる。
- ・ 住民自治の執行機関は、住民は意見や意思を表して住民自治の実行であるなら、この部分を一つにまとめて書いたものが、左から 2 番目の「共働」の縦に長い部分である。
- ・ これは左下の 住民自治本体、 住民自治の実行、 団体自治の実行、 団体自治本体という並びになっているが、今までは 住民自治の実行の部分を検討してきた部分だと思ふ。
- ・ と 団体自治の実行との間のやり取り、 A ~ D というのが入っている。
- ・ 今までの自治の組織でイメージをすると、イコール行政組織のピラミッド型をイメージしていたが、それはあくまで行政の組織であり、自治の組織ではない。そこを区別して考えないといけない。

〔中山座長〕

- ・ これは検討してきた中で出てきた新しい考え方だと思ふ。これを成り立ち、特性、背景、決意の中で、盛り込んでいければ良いと思ふ。

〔杉本委員〕

- ・ もう一つ問題なのは、このイメージマップの中で、縦 2 本目の 住民自治の実行の 12 番各自治区まちづくり協議会、各種委員会、審議会と、それぞれのところとの関係が出てくるが、そういうところに新たな条例や約束事が定義されていかなければならないと思ふ。
- ・ 実際には色々なケースが考えられ、今まで拾い落とした部分がかかなりあるのではないかと思ふ。その部分をきちんと網羅されるかは、こういうイメージがないと拾い落としが出てしまうのではないかと、危険性を感じた。
- ・ まちづくり基本条例を出したときに、今のところ条例や条項は目的型であり、具体性に欠けるという部分があるが、目的を言うときには、部署との関係をどうするかイメージしながら再確認するのが良いと思ふ。

〔中山座長〕

- ・ 後半の部分は再構成しないといけないので、その時にこれらの意見を参考にしながら進めて行きたいと思ふ。
- ・ 今言われた中には背景や決意のキーワードがあったが、出されているキーワードの中には入っていないと思ふので、そのあたりも含めて背景や決意を検討して行きたい。

- ・進め方は、成り立ち、特性、背景、決意の順番で書いてよろしいか。
- ・この4つを基に、少しずつ文章を考えて行きたい。
- ・まずは、北見市の成り立ちに関するキーワードはどうか。
- ・36回資料5で成り立ちに係るものをピックアップして行きたい。第6回時に出されたキーワードでは、歴史的には北方民族、郷土など。

〔笠原委員〕

- ・無理して6回目に出したキーワードにこだわらなくても良いのではないかと。今までずっと検討して来て、第6回目のキーワードを思い浮かべる部分と、今の思い浮かべる部分では相当差が出てきていると思う。あえてこの部分に拘らなくても良い気がする。
- ・先ほどの杉本委員の資料については、とりあえずその形において置き、あとは個々の部分で検討し、逢坂副座長、高橋委員、田巻委員、水口委員からも意見を頂いているので、先に説明してもらった方が良くと思う。

〔中山座長〕

- ・説明は、成り立ちの部分だけが良いか、全部が良いか。

〔笠原委員〕

- ・部分だけやると、かえってバラバラになる可能性が出てくると思う。

〔中山座長〕

- ・それでは意見を頂いている皆さんから、意見全体に関し副座長から順番に説明をお願いする。

〔逢坂副座長〕

- ・文章にした思いを説明する。資料中の1番については、1市3町合併後であり、単純に北見市というものでは問題があると考えた。
- ・第6回目の時のキーワードで、大雪連峰、澄み切った青空、実りの大地など色々なキーワードを含めた中で、1市3町が合併後のロケーションでなければならないと思う。
- ・2番目は旧北見市だけの地域特性では問題があると思う。中身については問題があるが、考え方としては、それぞれの地域先人が永年培ってきた歴史、文化、風土を土台に、4自治区という各地区のことを押さえるべきである。
- ・3番目については、議論の予知は無いと思う。
- ・4番目は、杉本委員からも話が出ているが、基本的に目指す方向としては、地域自治、市民自治についてこの後、議論が出てくると思うが、やはり地域自治に拠り所を持ったもので、今後まちづくりを進めるということが欠かせない要素だと思う。
- ・5番目については3氏（市民、議会、市長等）を意識する中で、具体的なルールとしてどういうものが良いかということで、今回の北見市まちづくり基本条例のアウトラインをここで示したものである。

〔中山座長〕

- ・続いて高橋委員お願いします。

〔高橋委員〕

- ・提出資料は、設計図みたいに作ったので、構成や各項目の中で強調したいものを書いた。あとは書かない方が良いキーワードをまとめたので、設計図と思って欲しい。

- ・ 1番は「起」の部分であり、歴史や風土などの構成で、北見市の特性である。あとは、「最高規範」だということを書くとすると、頭に持ってきてほしい。
- ・ 北見市については、皆がそう思っているということ、美しく書ければ一番良いと思うが、合併という事があるので、それぞれの特性をどこかで表せたらと考えた。
- ・ 2番は「承」の部分で、条例制定の背景である。先ほどの笠原委員の環境条例などは、だから作らなければならないということが強烈に出ている。
- ・ 実際に条例を作るときに、なぜ作らなければいけないのかをここでは説明しなくてはいけない。
- ・ 資料には、批判的、脅迫的ではなく事実を淡々とした柔らかい表現と書いたが、実際に問題を書くとなると難しいと思う。

〔中山座長〕

- ・ 丁度1～4の起承転結が、成り立ち、特性、背景、決意と重なり、この様に考えたら良いのではないかとこの事が提案されており、検討したいと思う。

〔高橋委員〕

- ・ 書かない方が良いキーワードというのは、私自身拘りたい部分でもあるので、他に皆さんにもあったら発言していただきたい。この事は色々あると思う。

〔中山座長〕

- ・ 「中核都市」と言う言葉は、使わない方が良いと最初頃にも出ていた。
- ・ 続いて田巻委員お願いします。

〔田巻委員〕

- ・ 「こうした部分を入れたい」ということで考えた。できればせつかく作る条例なので、柔らかい言葉で、子どもや学生、お年寄りが見ても分かるような文章になれば良いと思う。
- ・ 一人ひとりが主役であると言う部分と、こういう条例は誰かが作るのではなく、皆で自らの手で作るのだというような文章を入れたくてこの様な文章を考えた。
- ・ 成り立ちや特性、北見に関わる部分は殆ど書いていないが、載せたい部分の思いを書いた。

〔中山座長〕

- ・ 決意の部分で重要であり、是非含んで行きたいと思う。
- ・ 次に橋本委員が欠席をしているので、読ませていただく。「北見市は、北海道の屋根と言われる大雪連峰の東すそ野に広がる北見盆地を中心として、農林水産、観光と豊かな自然に恵まれ、澄み切った広い青空のもと、オホーツクの中核都市を目指して発展してきました。」ここまでは成り立ちの部分。
- ・ 「一人ひとりが、心と心、言葉と言葉、手と手をつなぎ、市民全員の共働の力を結集して、市民の幸せづくり、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、北見市の最高規範として、この条例を制定します。」これは先ほどの田巻委員から頂いた決意の部分に似たものだと思う。この事は皆さんも同じ思いだと思う。
- ・ 最後に水口委員お願いします。

〔水口委員〕

- ・ 提出したものを今、多少手直しをしたい。

- ・自分の思い、共働のキーワードとすると、「市民と行政は、共に手を携え、考え、行動し、共働の力によって、新しい北見市を創ることを目指し、この条例を制定します。」と変えたい。

〔中山座長〕

- ・かなり重なる部分があり、決意の部分はほぼ決まりに近いと思う。
- ・成り立ちや特性、背景については、皆さんの知恵を借り、どうして基本条例を作らなければいけないのかということも住民自治に絡んでくると思う。
- ・どういうシステムが悪くて、それを直すために我々はこの基本条例を作るという形にしないではいけないので、背景部分を少し知恵を絞り、皆さんと検討したい。
- ・まずは成り立ちの部分から検討したい。

〔高橋委員〕

- ・わりと田巻委員が書かれたような感じの方が、スムーズに行くかもしれない。

〔中山座長〕

- ・構成自体がということか。

〔高橋委員〕

- ・これを1つの部品と考えると、これぐらいの長さで分かりやすく前文で行くのも1つの方法だと感じた。前文の解説もあるのか。

〔事務局～企画部財政部次長〕

- ・必ずしもあれば良いという事ではない。解説があっても良いということ。

〔高橋委員〕

- ・前文自体はあまり長くなく、その解説を詳しくするという方法もありではないか。短い文章でも良いかもしれない。

〔杉本委員〕

- ・北見の生い立ちというと、スタート地点は1市3町の合併だと思う。それまでの地域の特色があると思うが、この事がきっかけでこの条例を制定することになったと思う。
- ・この条例を作る発端は、この部分であると思うし、行政側もそうだと思う。合併をしたのだから新しいルールが無くてはいけないということだと思う。

〔中山座長〕

- ・では1つ1つ書き下ろしたい。まず高橋委員から提案のあった背景・決意をまとめても良いのではないか。今の杉本委員の意見を合わせると、成り立ちも背景の中に混ぜてしまいうやり方もあるという意見だが如何か。
- ・他市を見てみると、漠然と成り立ちが、最初にある。この部分があった方が、形が良いのかもしれない。

〔笠原委員〕

- ・結局、合併が契機になり、それにより自然条件など色々な条件が変わった。枠組み自体が変わってしまったので、新しい枠組みを1市3町の歴史、文化、自然条件をどうやって引き継いでいくか、経過説明みたいな部分は、書いた方が良いと思う。
- ・そうでなければ、この条例の意味自体が発揮しなくなると思う。旧1市3町がそれぞれ基本条例を作るとすると、それぞれの地域の言葉、歴史や文化だけで行けると思う。

- ・ところが自治区を設置したという非常に特異な条件の中で、このまちづくりを進めていかなければならない事も、主の条件として市民としては考えて行かないと駄目だと思う。
- ・きっかけは合併である。考える材料はこうで、お互いにとって幸福な生活がより高められるようにと言う事は書いていかなければならない。
- ・ただ表現方法については、田巻委員の意見のように、できるだけお年寄りから子どもが読んでも分かるようにした方が良いと思う。
- ・ただ前文の解説文というのはあることはあるが、普通は出てこないものである。
- ・だから若干ボリュームが増えても、書くべき事は書いた方が良いと思う、解説文をわざわざ読む人は滅多にいない。
- ・ここではスペースの問題は無いと思うが、要素そのものは外さない方が良いと思う。
- ・むしろ大きくなって削るやり方はあるが、初めから骨組みだけをやり、後は解説文を読んで下さいという事は止めた方が良いと思う。

〔杉本委員〕

- ・笠原委員のも良い前文だが、タウンネットの前文も中々良かった。前文をしっかりと長文で網羅して、その気にさせる方が、案外良いのかもしれない。
- ・感動させる事でいくと、男女共同参画の前文内容も良いと思う。

〔中山座長〕

- ・私もあまり短いのは、どうかと思う。成り立ちから始めるとしても、1市3町の合併に注目して、成り立ちを書くという書き方と、そうではなく皆さんからの意見にもあるような「大雪山系を源にして・・・すそ野に広がる・・・云々」と言う書き方もある。他の方の意見を聞きたい。

〔合田委員〕

- ・この条例をそもそも作ろうという前提に地域情勢があるが、日本全国にこれだけ条例ができてきているというのは、社会情勢があると言う最初の話だった。その部分を前文の中に踏まえる必要があるのではないかと思う。何故まちづくり基本条例なのかと。

〔中山座長〕

- ・そうなると背景に含んで書いた方が良い。

〔合田委員〕

- ・本当に市民が主役で、自治のために立ち上がるという思いを促せるようなものにしたい。

〔中山座長〕

- ・成り立ちの最初の部分で、この背景に関わるようなことから入っていくのか、それとももう少しまとめると「オホーツクの中で・・・」という事を含めるか。

〔笠原委員〕

- ・例えば他のまちを見れば、端的に赤裸々に「財政危機」や「地方分権」などと具体的に書いている所もある。
- ・しかし、高橋委員が言うように、あまり悲観的な暗い感じを受けるのも止めた方が良いと思うし、北見の場合も合併の背景には色々あるが、その事を表に出して言っていたわけでもないのだから、それはやめておいた方が良い。
- ・やはり1市3町が合併し、自然条件が変わったことを、逢坂副座長の文案にあるような

枠組みでロケーションが変わった部分が大事だと思う。

- ・もう1つは杉本委員が言われたように、自治を反対に考えたときに、これまでは支配をされてきたということ。税金を払って支配されていた。
- ・その関係をいかにひっくり返していくのかということだと思う。分権というのは、国の持つものをこちらに渡すと言う発想かもしれないが、それとは全く別で、元々民族自立というか自主自立という価値観の返還が根底にあるということ。これが市民自治、住民自治だと思う。
- ・今まではお客さん感覚だった市民を主役にするという事は、単純に「主役になるから良いですよ」では決してない。義務ではなくて、本人として当然のことであり、自分の事は自分で決めようということだと思う。
- ・表面は住民自治や市民自治だが、結果として、この集合体というのは、この地域の1市3町が合併をして、この地域内において自分たちの生活は自分たちの努力により継承していくということだと思う。

〔中山座長〕

- ・私が確認したいのは、「背景と決意」は盛り込むべきだと思うが、最初、他の条例の大部分が「私たちのまち、云々は・・・」という成り立ちに関わる部分が多く入っている。
- ・そこにどの様な言葉を盛り込んでいけば良いか。
- ・それこそ背景の部分を、「1市3町が1つになり・・・」という言葉は盛り込むことも出来ると思うが、あまり突っ込んだ課題に関する部分は背景の部分に取って置き、なるべく美しい言葉を並べた方が良いのではないか。

〔笠原委員〕

- ・他の条文の殆どが「市民はこうしましょう」という形で書いてある。「安心・安全」などとキーワードを探す形で並べて行き、前文を読むと大まかな体系が分かる形になると思う。
- ・むしろ本文にあるものを引っ張って、それに無いものを、例えば「1市3町の合併」や「ロケーション」、「歴史、文化」などを繋ぎ、先ほどの枠組みで整理してもらえたら良いと思う。

〔中山座長〕

- ・背景と決意のところは原則を書くのはどうかと思うが、理念で書いていることは同じ順番で書くべきだと思う。この理念が出た背景と決意は、合併により我々は制定するのだということは書かなければならないと思う。
- ・最初は、成り立ちと特性とは少し離れた内容で良いと思う。北見市とはどんなまちなのか、我々はそれをバックに社会的背景があり決意をしたというような書き方になると考えている。
- ・この最初の成り立ちの部分の書き方だが、背景と決意の部分がかなりわかってきたが、問題は成り立ちの部分で、「私たちのまち、北見は」というように、組み込むべき言葉として、皆さんどんな事をあげられるか。
- ・例えば1市3町の合併の部分は良いという意見が出ているが、如何か。

〔合田委員〕

- ・逢坂副座長の「大雪連峰、澄み切った青空、実りの大地、オホーツク海等・・・」という言葉は良いと思う。

〔中山座長〕

- ・この1市3町の合併という言葉は、成り立ちとしては生々しいと思うが、皆さんはどう思うか。他の条例と比較をしてどう思うか。

〔笠原委員〕

- ・他の条例では矢祭町みたいに宣言文みたいなものもあるが、個人的には「私たちのまち北見は1市3町で合併をして新しく・・・」などという形が良いと思う。

〔逢坂副座長〕

- ・私案では「1市3町の合併後の」という言葉が入っているが、これはあくまでも説明文であり、本文にはこれを連想するような言葉に置き換えて、ダイレクトな書き方は入れない方が良いと思う。

〔合田委員〕

- ・成り立ち、特性については、ふさわしい言葉が出てくると思うので、最初はこういう内容での構成が良いと思う。

〔杉本委員〕

- ・仮に例えれば、大雪山から海までの4つの異なる地域が合わさって北見市になっているということを明記すれば良いと思う。

〔中山座長〕

- ・何となく環境基本条例に非常に近い感じである。それを案に含めていけば良いか。

〔水口委員〕

- ・総合計画を見ると、「北見市は海、山、川、湖など豊かな自然環境があり・・・」と書いており、出だしの書き方として、単純にこういう言葉も1つの案だと思う。

〔杉本委員〕

- ・それだと、日本全国どこでもになってしまう。

〔水口委員〕

- ・1つの表現であり、この1市3町を全部言うということは、大雪連峰からオホーツクなどと単純に書いた方が良いと思う。

〔杉本委員〕

- ・どちらかという合併をした背景を言葉に盛り込むとするなら、山の地区、平野の地区という合わせ方の方が、合併を背景にしていることが表現できる。

〔中山座長〕

- ・順番からいくと留辺蘂の山か。具体的には。

〔合田委員〕

- ・東大雪山など。

〔杉本委員〕

- ・北海道の分水嶺である。あそこからオホーツク海と日本海、太平洋へ、大雪山から無加川と石狩川と十勝川と3つに分かれている。そこからスタートしても良いと思う。

- ・北見市は、1本の川を分水嶺から河口まで全部持っているという特殊なまちである。四国にも1件あるようだが。

〔中山座長〕

- ・そういう事を書いたら良い。環境基本条例に近い形になると思う。
- ・それぞれ留辺蘂、北見市、端野、常呂の特徴を取り込みながら、成り立ちの中で入れていくと良いと思う。北見なら北見盆地となるか。

〔杉本委員〕

- ・固有名詞を出さないで、盆地・草原などでも良いのでは。

〔笠原委員〕

- ・先ほど杉本委員が言った、合併した事により無加川水系の広大なまちができたということではどうか。

〔中山座長〕

- ・ただ常呂川水系は微妙である。置戸の方が本流になる。

〔杉本委員〕

- ・留辺蘂が分水嶺のまちである。上川と上士幌と留辺蘂がそうであり、それで三国峠となっている。

〔中山座長〕

- ・例えば山とか盆地などはどうか。端野はどうだろうか。

〔高橋委員〕

- ・田園風景。

〔事務局～企画財政部次長〕

- ・基本的には、基本条例という性格付けでやっており、条例の中では、ここを発信地とした条例で組み立てをしていこうという思いの条例を作っている。
- ・市民憲章がスタートという流れで、市民憲章があり、自治基本条例があり、仮説の色々な条例があるという体系になっていく。
- ・実は市民憲章の中で、今の自治区の4つの要素を全て盛り込んでいる。これは解説の中に出ており、憲章の中には出てこないが、ロケーションとして4つの町の要素を、「澄み切った青い空」がもともとの北見の憲章の言葉である。「大雪連峰」は留辺蘂町、「オホーツク海」は常呂町、「実りの大地」が端野町ということである。
- ・こういった端的な表現から環境基本条例みたいに、「東大雪山系三国山を源とし・・・」というロケーションの表し方まで、色々な表し方はあるかと思う。
- ・どちらにも分かりやすさという意味では、憲章みたいなやり方もあるし、環境条例のような文言とした謳い方もある。

〔笠原委員〕

- ・結局キーワードの話の時でも出てきたが、豊かな自然を守りたいという意識はあるので単純に地理的、自然の条件を書くだけという事ではなくて、大事にしたいという思いが背景にあり、自然関係について記述していった方が良いと思う。

〔中山座長〕

- ・そう思う。その後に、キーワードとして留辺蘂か大雪連峰かどうかということは、まだ

置いておいて、大雪連峰とオホーツク海という事は非常にキーワードになると思う。

- ・後は北見と端野だが、実りの大地でも良いかもしれない。

〔水口委員〕

- ・私は「実りの大地」という言葉は、どこでも当てはまる言葉だと思う。端野に限らない。澄み切った青い空もそうだと思う。

〔事務局～企画財政部次長〕

- ・あくまでもロケーションとしてのイメージになればということである。

〔中山座長〕

- ・そうなるとこの2つが少し弱く感じる。

〔水口委員〕

- ・北見も端野も昔から一緒だったからわからないのでは。

〔合田委員〕

- ・澄み切った青い空でオホーツクブルーという言葉は、北見だけの言葉か。

〔杉本委員〕

- ・オホーツク海に面している所の全域。

〔合田委員〕

- ・地方から来られた方が、澄み切った青い空に感動し、オホーツクブルーと聞いて尚、感動するというが。

〔事務局～企画課長〕

- ・オホーツクブルーというと、網走支庁管内全域を指す。網走支庁もオホーツクブルーとはどんな色かということで、色を定めた。

〔中山座長〕

- ・せっかく1市3町の合併を契機にということをも案に含みたいので、できれば4つあげたい。大雪、オホーツク海というのは良いと思うが。北見と端野はどうか。

〔水口委員〕

- ・市民憲章のこれを決めるときも、苦労したようだ。

〔中山座長〕

- ・この言葉を利用する事はどうか。他にあれば発言願いたい。

〔水口委員〕

- ・自然と共生するという事が、大枠でキーワードになると思う。その言葉の中でどう使うのかということになる。自然と共生する中で新しいまちをつくっていくことになり、各町の表現の仕方で、何が適切なのか。

〔中山座長〕

- ・できれば私は、川の流れに従い上から順に並べていきたい。大雪連峰の後に、澄み切った青い空、実りの大地、オホーツク海、どうだろうか。

〔事務局～企画課長〕

- ・総合計画はまちづくりの一番最上位の計画だが、この事を子どもたちに知ってもらおうということで、絵本を作った。
- ・これは小学校の5～6年生に配った絵本であるが、4つのまちを子どもに分かってもら

うように表現したもので、留辺蘂、北見、端野、常呂を風にのってまちを歩いていくという内容の絵本である。

- ・これは比較的キーワード的なものや優しい言葉が出てくるので、参考までに見ていただければ。

〔中山座長〕

- ・キーワードは、留辺蘂が大雪山連峰、北見市は澄み切った青い空、端野は実りの大地、常呂がオホーツク海ということで、文言の整理をしたい。
- ・次に成り立ちの部分に入れたいキーワードはないか。
- ・一番皆さんが自治区の手と手を取り合って、北見市全体の発展を願うということが一番重要なキーワードだと思うが。
- ・成り立ちというと歴史がくるが。

〔笠原委員〕

- ・歴史というと、常呂の遺跡の研究所やオホーツク文化圏、北光社もあり、このような歴史性は独自のものである。この事は日本だけではなく、世界的にも発信できるものだと思う。

〔中山座長〕

- ・帯広市が参考になると思う。帯広市の最初が、「先住民族やアイヌの人たちが自然と共生して暮らす…」と書いてあり、北見市もこの様な書き方が良いと思うが。

〔笠原委員〕

- ・良いと思う。これから観光として、できるだけ常呂の遺跡や坂本竜馬の幕末のものなどがあることを外したらまずいと思う。

〔中山座長〕

- ・文章ではまとまりそうもないのでキーワードで考える事にする。

〔逢坂副座長〕

- ・成り立ちだから歴史ということになるが、留辺蘂から書くのではなく、一番歴史の古い所から順にということで、仮に常呂の遺跡が一番古いとすると、そこをスタートにして、次に留辺蘂の歴史的な背景となるキーワードを書いてはどうか。
- ・そうなると留辺蘂の歴史はどんなものがあるのか。

〔杉本委員〕

- ・マイナスイメージのものがある。強制労働的な歴史はある。

〔笠原委員〕

- ・あとは温泉がある。

〔逢坂副座長〕

- ・温泉が良いと思う。
- ・温泉はいつ頃できたものなのか。その辺を調べて古い順にして、一番新しいものが一番最後になるように、1市3町の1つの流れを表してはどうか。

〔中山座長〕

- ・常呂は遺跡で、北見は北光社、端野はどうか。

〔水口委員〕

- ・北見と端野は、一緒に屯田開拓である。

〔逢坂副座長〕

- ・そうになると屯田と北光とは、同じぐらいの年代になるのか。

〔水口委員〕

- ・ほぼ同じぐらいで、明治 30 年に屯田兵が北見と端野に入っている。端野一区、二区、三区、小泉も全部一緒に明治 30 年に入っている。
- ・その前に民間が入ってきているが、学校区が少なく、根室屯田を解体して入ってきた人もいる。根室峠に失敗をして北見峠に来た人もいる。

〔中山座長〕

- ・端野に水田発祥地とあるが・・・。

〔水口委員〕

- ・端野で一番早い水田地。端野以外にもたくさんある。

〔合田委員〕

- ・北見にもある。

〔中山座長〕

- ・この地域での最初ということではないのか。

〔水口委員〕

- ・そうではない。端野での発祥地、北見での発祥地。それぞれにある。

〔中山座長〕

- ・キーワードを確認する。留辺蘂は大雪連峰と温泉。北見市は澄み切った青空と北光社、端野は実りの大地と屯田兵、常呂はオホーツク海と常呂の遺跡ということで、最初の「私たちのまち北見は...」という部分の成り立ちに入れていく。

〔水口委員〕

- ・屯田兵が北見に来たということになっており、もともと北見と端野は一緒に、流れから行くと本体は北見にあったから、その記載で大丈夫か。

〔杉本委員〕

- ・そこまで詳しく書かなくても良いのではないか。
- ・まちづくり基本条例が観光パンフレットみたいに出てくるのも如何なものか。
- ・4 地区の持っていた歴史性をそれぞれの分野に散りばめるものであり、それだから合併をしたと言うことで、それ以上詳しく掘り下げなくても良いと思う。
- ・盛り沢山でいくと総花的になり、実際にはそれよりもそこでどうするのかということの方が目的であるので、この部分にあまりこだわらないで行った方が、あとで生きてくると思う。

〔中山座長〕

- ・歴史に関しては、深く突っ込まない方が良いとの意見であるが、例えば屯田兵や北光社あたりは書いた方が良いと思うが。

〔杉本委員〕

- ・しかし、北海道やどこの地域も必ず開発の歴史があるから、自分の地域にはこういう歴

史だと、あえて言わなくても良い感じがする。

- ・みんな、お互いにここまで苦労して来ているという感じだから、それが合わさりこれから私たちはこうやるというスタンスの方が良い気がする。

〔水口委員〕

- ・北光社とか屯田を使うと、例えば北光社の場合は訓子府の農地などと深く関わっている。

〔杉本委員〕

- ・産業系になると、どうしてもそれぞれの地域全般に広がってしまうので、歴史の産業系は如何なものか。歴史的なものは入れない方が良いのではないか。

〔中山座長〕

- ・無理に歴史に拘らずに、成り立ちの部分は1市3町の特徴を示すものにして、特性に移ったほうが良いかもしれない。

〔水口委員〕

- ・歴史的な事は、それぞれのまちの言い分があるので使わない方が良いかも知れない。
- ・先ほどのオホーツクブルーと一緒に、オホーツクという言葉を使うと、網走市は怒ると思う。オホーツク空港となった時も、色々ともめた。誰がつけたのかという騒ぎが起こった経過もある。

〔杉本委員〕

- ・大空町がオホーツクブルーを使うと言ったときも騒ぎが起こった経過もある。

〔笠原委員〕

- ・本州に行って北見はどのようなところかを説明する時に、他のまちでも同じような特性はあると思うが、それでも言えるものがあれば（屯田は北海道全体であるが）言った方が良いと思う。
- ・何も無ければどこのまちの話をしているのか訳が分からない。

〔杉本委員〕

- ・例えばこのまちづくり条例が、観光や説明目的の条例にしているわけではない。
- ・どちらかというところ「私たちは、こうするのだ」という目的の条例なので、他の町に説明するのであれば、観光パンフレットをつけて渡すぐらいで良いと思う。

〔笠原委員〕

- ・その事を踏まえ一番上の条例の意味合いから言ったときに前文を読んで、観光パンフレットでも別に構わないと思う。
- ・北見のホームページの一番最初に基本条例が出てきて、そして前文が出てくる。条文を読むかは別にしても、戦略的な発想を持ってやっても良い気はする。現実に考えても良いと思う。

〔杉本委員〕

- ・私は北海道の位置の特定ができれば、良い感じがする。大雪山からオホーツク海一帯ということで。

〔笠原委員〕

- ・しかし、本州の人間から見たときに、どこにその地域があるのか説明が難しい。だから地理的条件と歴史的な事が、少しでも相手に引っかければ良いと思う。

〔中山座長〕

- ・正直、北光社や屯田兵と言っても聞き流されるだけで何の特徴もないと思う。もう少しインパクトのある言葉があれば良いと思う。

〔水口委員〕

- ・「ハッカ」や「流氷」という全国でも通用するような言葉を使った方が良いと思う。自然と共生するという意味からしても。

〔笠原委員〕

- ・ただ、自称と他称があり、網走市については色々な意味で結構説明が付くが、北見市はどこかと言った場合にどう説明するかということ、網走の横だという事しかない。
- ・まして3町を説明する時には、どう説明すれば良いのかと思う。その前に北見市というまちは、特徴の無いまちだと思う。しかし、考えようでは、特徴が無いのではなくて、PRの仕方でもうにかなると思う。

〔中山座長〕

- ・ハッカは説明によく使うと思う。

〔合田委員〕

- ・北見というと、ハッカよりも玉ねぎが全国的に有名だと思う。産業は変わっていくから。

〔笠原委員〕

- ・歴史、自然、産業遺産のような感じになると思う。

〔中山座長〕

- ・とりあえず成り立ちを考えたいと思う。大雪連峰、澄み切った青い空、実りの大地、オホーツク海と言う言葉は良いと思う。
- ・その次に歴史や特性、特徴を表すキーワードを考えたい。
- ・いきなり背景に入り、決意を書くという手もあるが。

〔笠原委員〕

- ・例えば座長が横浜へ行って北見のまちを説明するときに、どういう説明をするのか。

〔中山座長〕

- ・ハッカと玉ねぎを例に説明する。

〔田巻委員〕

- ・ハッカと言った方が、案外北見が伝わる感じがある。

〔水口委員〕

- ・本州へ行ってハッカというと、網走の北となりイメージできる人が結構多い。

〔中山座長〕

- ・分かってくれる方が結構多い。

〔笠原委員〕

- ・あとは「ホタテ」。

〔中山座長〕

- ・ホタテは、サロマをイメージする。

〔水口委員〕

- ・本州の人に玉ねぎが日本一と言っても、あまりピンときてくれない。

〔中山座長〕

- ・場所を説明するときは、網走といっても中々分かってくれないので、知床から車で2時間と説明をする。

〔杉本委員〕

- ・北海道と言うと、みんな大雪山はイメージ出来る。そこから斜め30度にオホーツク海まで線を引いた、その一帯だと説明する。地理的に地図でオホーツク海と大雪山がイメージできるので、それが一番説明し易い。

〔中山座長〕

- ・知名度の高いものを言葉にすると「ハッカとともに成長し栄え・・・」と言う書きかたもあるが、どうだろうか、出たくないか。

〔合田委員〕

- ・北見のハッカの生産が、世界の7割だったということは大きな事だとは思う。

〔中山座長〕

- ・この部分は、キーワードを含め副座長とも相談しながら作成したいと思う。
- ・次に背景と決意の部分を決めたい。背景は1市3町の合併が1つきっかけになっていると思う。
- ・それは成り立ちの部分で安易に書く事ができたと思うので、それを改めて1市3町という部分を書かずに出していくか。
- ・背景、課題でこういうものがあるから我々は決意をして、目標を掲げたということを書ければ良いと思う。
- ・今説明をした中で背景に関わるものとしては、逢坂副座長の1市3町の合併、高橋委員の2の承の部分での財政と合併の部分がある。

〔杉本委員〕

- ・住民自治の必要性は。

〔中山座長〕

- ・そうであった、その部分はどんな感じになるのか。

〔杉本委員〕

- ・よく社会情勢で、そのまちの条例が進んでいることがあるが、この流れは小さい自治などのキーワードでやっている流れがあるが、我々は流されないできちんとしたスタンスでやってきた事は良いことだと思う。
- ・背景に関しては社会情勢は変わってしまうので、変わらない住民同士の信念で立ち上げたような意思の強さをどこかに欲しいと思う。
- ・それで無ければ住民自治は出来ないと思うし、これからの情勢に対応できないと思う。
- ・他の条例では、生々しく行政資金がなくなると書いているところもあるが、それは勘弁して欲しい。それは書かない方が良いキーワードである。

〔中山座長〕

- ・4番の結の部分、実感できるまちを目指すということだが、これが達成されていないということなのか。

〔杉本委員〕

- ・住民自治はどこも達成できていない。逆にその部分は皆一緒なので、私たちのまちはこういう住民自治をやるのだと言うスタンスでやれば良いと思う。
- ・達成できなかったでもなく、こういうものを作るのだというより、育てていくのだというスタンスでいかなければうまくいかないと思う。

〔中山座長〕

- ・「社会の大きな変化で、市民一人ひとりの思いや声が、調和の中で生かされた市民自治を実感できるようにしなくてはならなくなっている」という感じか。

〔杉本委員〕

- ・そして育てなくてはいけないという状況になっている。作るとなると、完成系をイメージしてしまうので。

〔中山座長〕

- ・市民自治と言うのは住民自治に入るのか。

〔杉本委員〕

- ・市民自治でも良いと思う。私達は市民と言う言葉を使うだけで、そのスタンスであれば良いと思う。

〔中山座長〕

- ・「社会の大きな変化により、市民一人ひとりの思いや声が調和の中で生かされた市民自治を実感できるようにしなくてはならない」の「しなくてはならない」とするか。先ほど杉本委員から、「育てる」と言っていたが。

〔杉本委員〕

- ・公という心を育てることが最大のテーマだと思う。そして、その心を育てた中で、行政側の方法論や住民側の方法論が出てくると思う。
- ・そうしないと共働きの原則などがこれから出てくると思うが、その根拠となるものがまだ育っていないし、確実にないないので、「育てる」と言う事が基本だと思っている。いつまでも永遠の追求だと思うが。

〔中山座長〕

- ・全体の構成を見ながら少し変えるが、「社会の大きな変化により、市民一人ひとりの思いや声が、調和の中で生かされた市民自治を育てていかななくてはならなくなっている。」では・・・。

〔杉本委員〕

- ・その「社会の変化」と言う言葉は関係ないと思っている。社会の変化に惑わされては駄目だと思う。政治1つで、ころころ変わるようなまちづくりでは、駄目だと思う。

〔中山座長〕

- ・「市民一人ひとりの」と言うのはどうか。これを背景の1つとして入れたい。ただこれが入ると、共働や住民自治が入ってくるので、これ1つでも十分な意味を持っていると思う。
- ・他のものを入れないほうが良いかもしれない。後は、目標や決意をたくさん書いたほうが良いと思うが。

〔笠原委員〕

- ・逢坂副座長の 4 番「市民一人ひとりの思いや声が調和の中で生かされた市民自治を実感出来るまち北見を目指します」の調和の中でのイメージとは何を想定されているのか。

〔逢坂副座長〕

- ・共働と市民参加、そしてそれを後押しする情報の共有があい重なって調和していくというニュアンス。あまり長くならないように書いた。

〔中山座長〕

- ・この後に、共働のキーワードが目標や決意の中に出てくれば良いと思う。

〔笠原委員〕

- ・それは 3 番では。

〔中山座長〕

- ・その 3 番の部分に、決意や目標を具体的に我々は何を目標にしてどういう決意をして進んでいくのかということを書く。
- ・調和と言う言葉は、全体を見て別な言葉に置き換えても良いと思う。

〔中山座長〕

- ・出来れば次回の会議には、私と副座長で考えた前文を出したいので、キーワードがもう少しあるかも知れないが、背景はこの程度にする。
- ・次に決意。目標を含んだ決意を検討したい。逢坂副座長の 3 番の新しい考え方である共働「市民が主体になり・・・」は、共働に関わる部分だと思う。
- ・田巻委員の 2 つは優しくて良いと思う。
- ・橋本委員の 2 つ目の段落「一人ひとりが、心と心・・・共働の力・・・」という共働も、田巻委員と逢坂副座長の考え方を合わせた文言になっていると思う。
- ・少なくとも決意の中で皆さんがいて欲しいことは「共働」だと思う。後は「市民一人ひとりが主役」と言う事をあげた方が良いと思う。理念と重なる部分はあるが、それを見ながら考えたい。
- ・理念の最初が、「まちづくりの主体は市民である」ということがあるので、「市民が主役」と言う言葉は入れた方が良いと思う。
- ・次が理念で、「誰もが多様な生き方を支えあい、自立して暮らせる社会に共に考え、共に取り組む」が共働に対する言葉。
- ・そうすると、市民が主役という言葉には、共働と言う言葉が入った文章が入る。そして理念の最後には、議会や市長に対する取るべき行動や他の国との連携などが含まれるので、これは前文の中に入れなくても良いと思う。
- ・安心・安全と言うのは、以前もキーワードとして出てたので入れた方が良いと思う。
- ・その他、市民が主役である。共に生き、共に働く共働、あとは安心・安全だが、他に何かないか。

〔水口委員〕

- ・先ほどの自然と共生するという言葉は。

〔中山座長〕

- ・自然と共生をどう入れたら良いのか。
- ・最高規範として、条例を制定するという形の終わり方をしたいが、良いか。
- ・ここまでを確認する。
- ・今までの検討をまとめてみると、成り立ち、特性、背景、決意と言う順番で書いたほうが良いということで検討を進めてきた。
- ・成り立ちに関しては、「私たちのまち北見は、大雪連峰、澄み切った青い空、実りの大地、オホーツク海」というキーワードが成り立ち・特性と言う事になるのではないかとということ。
- ・特徴をプラスして他の言葉を入れることは、後日、私と副座長と事務局で話し合っ入れて入れるものがあれば入れたいと思う。
- ・背景としては、「市民一人ひとりの思いや声が、調和の中で生かされた市民自治を育てていかなくはならなくなっている」といきなり入れると漠然とすると思うので、文章をもう少し変えて、背景として1つの文章にしたいと思う。
- ・決意に関しては、理念の1項2項を参照して、「市民が主役である」「共に生き、共に働きの共働」を必ず入れる。
- ・それ以外に理念には書かれていないが、「安心・安全」と、北見市を示すのに自然を使ったキーワード「自然と共生」を入れた方が良いという意見も頂いた。この辺を入れて決意を書きたいと思う。
- ・最後はまちづくりの最高規範として、まちづくり基本条例を制定するという事で締めくくるとのこと。
- ・この事を踏まえて次回までに資料を作成して、皆さんにご報告したいと思う。

次回の会議について

〔中山座長〕

- ・次回は前文の検討の続きとそれ以外で一部残してある条例の検討や全体構成の再確認をしたい。

〔事務局～企画課長〕

- ・次回は、これまで進めてきた内容を取りまとめた部分、それから条文では中々表せない部分を解説の中できちんと謳っていくという事もあるので、その事も含めた資料を配布したいと考えている。
- ・次回は、6月11日（木）に開催を予定。

〔中山座長〕

- ・以上で、本日の会議を終了する。